令和５年度　学校経営計画書

学校番号	23	学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校	校 長 名	赤澤　智子

１　目指す学校像

(1) **教育目標『元気　笑顔　夢の実現』**

元気＝命の大切さを基本とし、楽しい学校生活の中で、心身ともに健康な生活を送ること
笑顔＝日々の学校生活が学習面・生活面で満たされ、人・もの・ことに主体的に関わること
夢の実現＝日々の教育を明日に繋げ、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

目指す児童生徒の姿

自分の良さを生かし、人や社会とつながりながらその能力や可能性を最大限に発揮して、主体的に学び生活する姿

(2) 目標具現化の柱

ア【安全・安心】　人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実
イ【授業】　一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える授業の充実
ウ【連携】　地域とつながり、地域に学び、地域と連携・協働した学校づくりとセンター的機能の充実

２　本年度の取組（重点目標は**ゴシック体**で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	（ア）(安全・安全)) （教育環境の整備） 児童生徒が安全に安心して生活することができ、活動しやすい教育環境を整備する。	定期的な校内安全点検と災害時における危険個所の迅速な点検と整備をする。	・管理責任者による安全点検の実施と危険個所の整備 100％	防災教育課 各学部・事務部
		教員と児童生徒が協働し、感染予防対策と美化清掃活動を日常的に実施する。	・「整理整頓・清掃が常に行き届いている学校」と答える教職員 100％。	生徒指導課 保健給食課 各学部・事務部
		保健、医療的ケア、給食、体育等のヒヤリハットを自分事に捉えるよう呼びかけ、適切な対応を促し、迅速な改善策を策定する。	・保健、医療的ケア、給食、体育等の重大事故発生０件。 ・「ヒヤリハット等の情報を環境整備や再発防止に活用した」と答える教職員 100％	保健給食課 体育課 教務情報課 各学部
	（イ）（危機管理体制の整備と改善） 事故や災害等に対する適切・迅速な対応を考え危機管理意識の向上を図る。（自分の命は自分で守る教育）	地域の強みを活かし、掛川市、南郷地区、希望の丘と協働した防災体制の整備。	・地域との合同訓練を通して福祉避難所運営や避難体制の確立 100％	防災教育課 事務部
		危機管理マニュアルを見直し、（登下校時を含む、地震災害、荒天、行方不明等）避難訓練を実施する。	・マニュアルを教職員が理解し、「児童生徒が有事の際の動きが分かり行動できた」と答える教職員 100％	防災教育課 生徒指導課
		情報管理、交通安全、会計処理等に関する研修を実施し、児童生徒、保護者、地域の信頼に応える。	・不祥事根絶。情報機器管理・紛失０件。個人情報紛失０件。交通加害事故０件。不適正会計処理０件。	教務情報課 企画会 事務部
	（ウ）（人権教育、道徳教育の充実） 教職員、児童生徒の人権意識を向上し、他者も自分も大切にする心を育む。	人権教育に関する全体研修会１回、学部研修１回を実施する。 月ごとの人権目標や振り返りシートを活用し、人権感覚の向上を図る。	・「教職員一人一人が人権に配慮した丁寧な態度や言葉遣いができた」と答える教職員の評価 100％	生徒指導課 各学部
		いじめ等に関する児童生徒・保護者アンケートを実施する。	・「アンケート後、丁寧な対応ができたと答える教職員 100％	生徒指導課 いじめ対策委員会
		発達段階に応じた人権教育、道徳教育（道徳をテーマにした公開授業）１回以上を行う。	・「児童生徒が、あいさつやありがとうが自分から言えた」と答える教職員 100％	生徒指導課 各学部

	（エ）（業務改善と明るい職場づくり） **心にゆとりがあり、教育公務員としての自覚と仲間を大切にする姿勢をもった教職員**	教職員一人一人が働き方改革の意識を持ち、業務や会議の能率化と精選を進める。 お互いを思いやれる働きやすい職場づくりを推進する。 夢の実現委員会開催３回	・「働きがいとワークライフバランスの視点で業務改善できた」と答える教職員 90% ・「自分の役割を自覚し、仲間と協働することができた」と答える教職員 100%	夢の実現委員会 各学部
イ	**（ア）** 保護者と教職員が連携・協力して児童生徒の成長を支え、夢の実現を目指す。 （イ） 12 年間を見通したつながりある年間指導計画の作成と授業づくりを実施する。 **（ウ）（専門性）** **学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を通して、実践力と専門性のレベルアップを図る。**	個別の教育支援計画、個別の指導計画等を保護者や関係機関と面談等で共有し、有効に活用する。	・「すまいるファイルを保護者や関係機関と共有し、面談や進路に活かせた」と答える教員 100%	教務情報課 地域連携課 キャリア教育課
		自立活動の６区分等から実態把握し、個別の教育支援計画の作成や根拠ある目標設定を個別の指導計画に反映させる。	・「日々の児童生徒の評価を記録し、個別の指導計画に反映できた」と答える教職員 100%	自立活動課 教務情報課 研修課
		日常の授業や校内研修等を利用し、授業改善を図る。 公開授業研究会を開催し実践を発表する。	・「助言者や授業アドバイザー等からの助言を受け授業改善できた」と答える教員 100%	研修課 各学部
		学習指導要領の内容を踏まえた授業実践や授業改善を行う。 ＩＣＴ機器活用に関わる教職員研修の充実と実践。	・「主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善できた」と答える教職員 100% ・「授業でＩＣＴ機器を活用した」と答える教職員 100%	研修課 各学部 教務情報課
		カリキュラム･マネジメント委員会（3 回）や学年主任者会等学習指導要領を基にして教育課程について見直し、12 年間のつながりを整理する。	・「12 年間の系統性、や学習指導要領等の内容を見直した年間指導計画が作成できたと答えた」教職員 100%	カリキュラム･ネジメント委員会 体育課 図書表現課 各学部
		「掛特版キャリアプランニング・マトリックス」や「保健教育に関する 12 年間の押さえ」の活用による児童生徒のキャリア発達に応じた指導実践の実施。	・「『掛特版キャリアプランニング・マトリックス』や『保健教育に関する 12 年間の押さえ』を活用し、授業実践した」という学部 100%	キャリア教育課 保健給食課 各学部
		表現力や想像力を高めるために図書室や美術室・音楽室の環境を整える。	・「児童生徒が読書に親しんだり芸術を楽しんだりすることができた」と答える教職員 100%	図書表現課 各学部
ウ	**（ア）（センター的機能）** **社会に開かれた教育課程の実現を目指した地域・学校・家庭の協働強化を図る。**	保護者や関係機関からの相談や要望に対し、それぞれの役割を明確にして、連携する。	・ニーズに応じたケース会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて保護者や関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員 90%	地域連携課 キャリア教育課 各学部
		チーム学校の機能を活用し、在籍児童生徒の支援体制を充実させる。	・校内の専門家（看護師、ＳＣ）や校外の専門家（ＰＴ、０Ｔ、学校医、医ケア指導医相談員等）の活用が「有効であった」と答える教員の評価 90%	地域連携課 キャリア教育課 保健給食課 自立活動課
		日々の学校公開やＨＰ等利用し、児童生徒の様子を発信する。	・「学校公開やＨＰ等で学校の様子が理解でき」と答える保護者 100%	教務情報課
	（イ）（ふれあい活動の実践） **共生共育の実現に向けたコミュニティースクールの実施**	地域資源（人・もの・こと）を活用する「ふれあい活動」を年間計画に位置づけ実践し、成果と課題を明確にする。 地域の施設での作品展や作業製品展示･販売会を開催する。	・「ふれあい活動を実施し、地域資源（人・もの・こと）を利用できた」と答える教職員 100% ・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を公開して、「児童生徒の理解啓発につながった」と答える教職員 100%	地域連携課 各学部 カリキュラムマネジメント委員会 図書表現課 各学部
		学校間交流、交流籍交流の相手校と連携を図り、相互に有効な交流及び共同学習を実施する。	・実施後アンケートで「有効であった」と答える本校、相手校の評価 100%	地域連携課 各学部